

提案全体のタイトル:「持続可能で魅力的なまち・薩摩川内市」を目指して

提案者名:鹿児島県薩摩川内市

全体計画の概要:全国でも稀な外洋離島を含む広域合併により誕生した本市は、多種多様な地域資源を有し、まちづくりの中核を担う地区コミュニティ協議会や市内事業者等と一体となった「チーム薩摩川内」で、持続可能で魅力的なまちづくりに取り組んでいるが、現在、様々な地域課題に直面している。そこで、「総合計画」に基づき、経済・社会・環境の三側面に相乗効果を発揮し、複合的な地域課題の解決に繋げることで、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組む。

1. 将来ビジョン

地域の実態

- ・全国でも稀な広域合併により誕生した都市
- ・人口動態と将来展望
- ・産業構造

2030年のあるべき姿

- 【総合計画】将来都市像:「人と地域が躍動し 安心と活力のあるまち 薩摩川内」
- ・地域の豊かな個性で活力を生み出すまち
 - ・安全性と利便性の質を高めるまち
 - ・健やかに生き生きと暮らせるまち
 - ・次世代を担う人と文化を育むまち
 - ・快適で魅力的な住み続けたいまち
 - ・市民みんなで考え、行動するまち

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット



自治体SDGsに資する取組

- ・SDGsの理念は、本市総合計画で示された基本理念や将来都市像、施策の方向性と重なるものであり総合計画を推進することが、SDGsの達成に向けた取組を推進することに繋がる。
- ・6つのまちづくりの柱を、2030年のあるべき姿と位置付け、将来都市像の実現に向け、経済・社会・環境の三側面に相乗効果を発揮し、持続可能で魅力的なまちづくりを推進する。

情報発信

- 【域内向け】
- 1 現状と情報発信における戦略
 - 2 「SDGsチャレンジ」が合言葉の市役所づくり
 - 3 市民向けの情報発信(ワークショップ、タイアップ事業、出前講座、FMさつまさんの活用など)
 - 4 2030年に向けた児童・生徒・学生との対話など。
- 【域外向け】
- ・SDGsチャレンジプロモーションの実施など(国内)
 - ・友好都市との交流事業の活用(海外)

普及展開性

- ・本市の課題(少子高齢化の進行と人口減少社会の到来、環境・エネルギー問題の深刻化、日常生活における安全・安心志向の高まり)は、他の自治体においても直面し今後取り組む必要がある課題であり、地方都市である本市が取り組むことでモデルケースとなり得る。
- ・SDGsイノベーショントライアルサポート事業を通じて、全国から集まる先進的なアイデアを、他の地域に還元し、普及展開を行う。

各種計画への反映

- 1 総合計画と一体的なSDGsの推進
 - ・後期基本計画及び総合戦略における施策とSDGsとの関連付け
- 2 総合計画と各種個別計画との整合・調和
 - ・各種個別計画は総合計画との整合・調和を行うことで、SDGs推進に向けた動きが、各分野の個別計画においても同調する。

行政体内部の執行体制

- 1 市長による明確なビジョンの表明(①未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言、②アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望)
- 2 SDGsの推進体制(政策会議、部会など)
- 3 SDGsの推進における進行管理(総合計画と連動した毎年度の進行管理の実施)
- 4 SDGs戦略の策定(2025年度を始期)

ステークホルダーとの連携

- 【SDGsの推進に向けた包括連携協定】
- ・SDGsの推進を目的とした包括連携協定を締結した企業等と、お互いの資源や強みを生かし、持続可能で魅力的なまちづくりに取り組む。
 - ・SDGs推進に向けた包括連携協定 3団体
 - ・その他の包括連携協定 14団体
- 【国内の自治体】 【海外の主体】

3. 推進体制

自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

【官民連携プラットフォーム構築】
経済・環境・社会の三側面において、事業者と行政が一緒になって取り組み、ESG投資拡大や資金循環の流れを作る。

【SDGs登録・認証・表彰制度構築】
様々な地域事業者のSDGsに資する取組を促進し、地域事業者・地域金融機関・行政が一体となった地域経済の活性化に繋げる。

【投融资機会等の拡大】
SDGsイノベーショントライアルサポート事業を通して、様々な民間事業者との繋がりを形成し、企業版ふるさと納税の周知等に取り組む。